

問 高齢化社会、東海病院の役割とは

答 訪問診療を含め、継続的に検討する

光風会 江田 五六 議員



議員 団塊の世代が後期高齢者になる9年後、医療・福祉・保険費用が膨らみ、一方で年金の大幅削減等の問題が露呈し、大きな社会問題になる。これが全国的な2025年危機問題である。この対策の一環として、誰もが住み慣れた我が家及び地域で暮らし、24時間対応の在宅サービスを受けられるような医療を望んでいると思う。その役割を担うのが東海病院と考える。

福祉部長 委託先の(公社)地域医療振興協会との連携・協力体制を強化しながら、訪問診療なども含めた今後の病院運営の在り方について、継続的に検討していく。

議員 来年度の予算編成の基本的な考え方として地球温暖化による自然災害の激甚化、グ



訪問診療

ローバル化による貧富の格差拡大、雇用の悪化、健康格差、そしてAIロボットの出現等多くの課題が山積している。この課題解決の手掛かりになるような予算編成が必要。

村長 各部署が抱えている課題等に対応するよう積極的な政策立案や事業化を指示する。

問 舟石川小学校にブランコ再設置を

答 早期の実現に向け調整する

無会派 大名 美恵子 議員



議員 成長期の子どもたちにとり、心身のバランスが取れた成長・発達を助ける遊具・体操器具の役割は大変重要。学校等に設置された遊具・体操器具類の安全管理体制を問う。

教育次長 毎年、遊具施設の点検を委託し、公園施設製品安全管理士の管理のもと、公園施設製品整備技師による、破損、摩耗の具合、継ぎ部分の緩み、支柱のぐらつきなど、目視、触診、打診などにより点検している。

議員 遊具等の設置で重要なのは、子どもの成長・発達の段階、特性を捉えた整備であり、本来どの子にも等しい環境であることが望ましい。教育委員会は、「体育のカリキュラムに位置付けられた遊具ではないが、ブランコは運動神経系の発



舟石川小ブランコ

達期の子どもにとり大いに有用」と判断することのだが、利用できないままでは舟石川小学校のブランコを最短距離で再設置する考え方はあるか。

教育次長 子どもたちの安全を最優先に、学校とも相談し、早期の実現に向け調整する。